

感染症の流行・発生状況について
2025年第9週(2月24日～3月2日)診断分

● 警報・注意報(県全体)

警報	なし
注意報	水痘

● 疾患別警報レベル・注意報レベル(各保健所)

警報レベル	注意報レベル
・インフルエンザ (南部保健所管内) ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (八重山保健所管内) ・流行性角結膜炎 (那覇市、八重山保健所管内)	・水痘 (中部、那覇市、南部、八重山保健所管内)

● 2025年第9週全数報告について(南部保健所管内)※先週までの報告からの追加も含む

【二類感染症】 ・結核 1件	【五類感染症】 ・百日咳 7件
-------------------	--------------------

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

① 水痘

本県から令和7年3月7日付けで水痘(みずぼうそう)の流行状況について注意報発令とのプレスリリースがあります。詳細につきましては以下のリンクをご参照ください。

<https://www.pref.okinawa.jp/press/1028521/1033862.html>

感染症発生動向調査による本県の医療機関から水痘の届出が2025年第9週で定点当たり1.28人(報告数41人)となり、水痘の発令基準値である1.0人を超えましたので注意報発令となります。南部保健所管内における水痘の報告数は2025年第9週で定点当たり1.38人(報告数11人)となり前週から、注意報発令基準値1.0人を超えており注意報発令中となっております。

水痘(みずぼうそう)は水痘帯状疱疹ウイルスによって起こる急性の伝染性疾患で、2週間程度の潜伏期間の後、発熱や倦怠感(成人のみ)を経て掻痒を伴う全身性の発疹といった症状が出現します。1歳以下や15歳以上で合併症の危険性が高くなり、とくに成人では重症化及び合併症の頻度も高くなります。予防方法は感染者との接触を控えることと予防接種です。予防接種は、水痘ワクチンの1回接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘を含めてその発症を予防できると考えられています。定期接種の対象は生後12か月から生後36か月に至るまでの間にある方で、計2回の接種となりますので、まだ予防接種を受けていない場合は早めに接種してください。

② 百日咳

本県から令和7年2月7日付けで百日咳が増加傾向にあるとのプレスリリースがあります。詳細につきましては以下のリンクをご参照ください。

<https://www.pref.okinawa.jp/press/1028521/1032871.html>

感染症発生動向調査による本県の医療機関から百日咳の届出が2025年第9週時点で累計167人となり、全数把握となった2018年以降では過去最多であった2024年の85人を大きく上回っており、増加傾向にあります。

南部保健所管内においても百日咳の報告数は2025年第9週時点で累計66人となり、本県と同様に過去最多であった2024年の44人を大きく上回り、増加傾向にあります。

百日咳は感染力が強く、乳幼児が感染すると重症化あるいは死にいたることもあります。感染対策には予防接種が非常に重要ですので、生後2か月になった乳児は速やかに五種(四種)混合ワクチンの接種を開始しましょう。乳幼児でまだ予防接種を受けていない場合は早めに接種をしてください。また、児童、生徒や成人では一般的に軽症となる傾向がありますが、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源となりうるため、咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。

③ インフルエンザ

本県から令和7年2月28日付けでインフルエンザ流行状況について、インフルエンザ警報解除とのプレスリリースがあります。詳細につきましては以下のリンクをご参照ください。

<https://www.pref.okinawa.jp/press/1028521/1033364.html>

感染症発生動向調査による本県の定点からの報告数が、2025年第9週で定点当たり7.61人(定点医療機関56か所、報告数426人)となり、前週から警報発令の終息基準値を下回っております。

南部保健所管内においては、2025年第9週で定点当たり10.64人(報告数149人)と、終息基準値の10人を上回っております。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

※定点医療機関とは、インフルエンザなどの感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことです。定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

		沖縄県全体報告数					南部保健所管内報告数				
疾病名	定点区分	6週	7週	8週	9週	9週	6週	7週	8週	9週	9週
		2/3	2/10	2/17	2/24	(定点あたり報告数)	2/3	2/10	2/17	2/24	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	642	647	485	426	(7.61)	212	193	148	149	(10.64)
咽頭結膜熱	小児科	4	7	3	5	(0.16)	2	3	0	4	(0.50)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	91	78	70	76	(2.38)	12	19	13	17	(2.13)
感染性胃腸炎	小児科	97	99	140	160	(5.00)	38	17	31	23	FALSE
水痘	小児科	17	29	26	41	(1.28)	4	7	12	11	(1.38)
手足口病	小児科	4	2	1	6	(0.19)	1	1	0	3	(0.38)
伝染性紅斑	小児科	11	8	11	12	(0.38)	6	2	7	1	(0.13)
突発性発疹	小児科	9	8	4	7	(0.22)	1	4	0	0	(0.00)
ヘルパンギーナ	小児科	0	0	1	0	(0.00)	0	0	1	0	(0.00)
流行性耳下腺炎	小児科	2	2	0	2	(0.06)	0	0	0	0	(0.00)
急性出血性結膜炎	眼科	2	0	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	41	46	62	68	(7.56)	12	10	22	12	(4.00)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	1	0	(0.00)	0	0	1	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	1	0	2	1	(0.14)	0	0	1	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	0	2	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	6	5	5	10	(0.31)	2	3	1	3	(0.38)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	1	1	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	57	88	76	88	(1.57)	18	32	35	33	(2.36)
ヒメタニニューモウイルス(MMPV)感染症							0	3	4	2	(0.22)

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。

警報

注意報